

## 前回定例会(平成22年3月3日)以降の行政の動き

平成22年4月7日  
新潟県

### 1 安全協定に基づく状況確認

○平成22年3月10日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 3号機耐震強化工事の状況(天井クレーン、燃料取替機)
- ・ 建屋の変動に関する知見拡充の取組状況(GPS観測装置、建屋傾斜計)

### 2 技術委員会の開催

[設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

○平成22年3月8日(第34回)

<議事概要>

#### 【1号機の健全性評価について】

- ・ 委員から、東京電力の評価結果と国の評価結果を比較して検討したいとの要望があり、国への質問事項を整理した上で、説明を求めることとされました。

#### 【1号機の耐震安全性評価について】

- ・ 東京電力から、委員質問への回答として、地震時の制御棒挿入性に係る過去の実証試験の結果について説明がありました。
- ・ 委員からは、試験結果にばらつきがあるため、解析で求めた安全裕度が少なくなるのではないかとの質問があり、これまでの議論を整理した上で、改めて確認することとされました。

#### 【漏えい燃料の発生率について】

- ・ 前回の議論で、漏えい燃料の発生率は炉の型式に関係ないとされたことについて、委員から、独自の統計的検証を行いたいとして、詳細なデータの提示を求める意見がありました。

#### 【その他】

- ・ 3月7日付け新潟日報において1号機の安全性を懸念する内容の記事が掲載されたことを踏まえ、事実関係を確認するため、これまでの小委員会で議論した内容の一部が改めて確認されました。

○平成22年3月24日(第35回)

<議事概要>

#### 【1号機の耐震安全性評価について】

- ・ 東京電力から、地震時の制御棒挿入性について、これまでの議論を整理して補足の説明がありました。
- ・ 委員からは、地震時の制御棒挿入性が確保されているという結論に異論はないが、どの程度の余裕が含まれているかについて、もう少し分かりやすく説明すべきとの意見がありました。
- ・ 今回欠席した委員には、東京電力の回答と今日の議論の状況を伝えて確認してもらい、次回に論点をまとめることとされました。

#### 【漏えい燃料の発生率について】

- ・ 東京電力から、委員質問への回答として、漏えい燃料の発生率に関する補足の説明がありました。
- ・ 委員からは特段の異論はなく、次回にこれまでの議論を整理することとされました。

[地震、地質・地盤に関する小委員会]

○平成22年3月25日(第23回)

## <議事概要>

### 【1号機及び5号機の耐震安全性評価について】

- ・ 東京電力から、津波に対する安全性と原子炉建屋基礎地盤の安定性について、計算の手法や適用した条件などを補足する説明がありました。
- ・ 委員からは、安全性を確認できたとする意見があった一方で、計算の精度・信頼性等の点で疑問が残っており、安全とは判断できないとの意見がありました。
- ・ 一通りの説明と検討がなされ、これまでの議論を整理して技術委員会に報告することとされました。

### 【知見の拡充に向けた取組について】

- ・ 東京電力から、主に建屋の変動に関する検討について、補足の説明がありました。
- ・ 委員からは、建屋の傾斜は基準値内に収まっており安全上の問題はないとする意見と、建屋の変動要因が解明されなければ、将来の安全性は担保できないとして、十分な検討を求める意見がありました。

## 3 その他

### (1) 6号機の警報発生時の不適合について

#### ○平成22年3月19日：報道発表

柏崎刈羽原子力発電所から、営業運転中の6号機(改良型沸騰水型、定格出力135.6万kW)で、3月14日に原子炉内の状態を監視している4系統ある計測回路のうち1系統が故障し警報が発生したため、当該故障回路を切り離し、残りの3回路で監視を行うようにして復旧するまでの約5分間、一時的に「運転上の制限を逸脱」※した状態となっていたことがわかったとの連絡がありました。

原子炉本体の運転状態に問題はなく、環境への異常な放射性物質の放出はなく、外部への放射能の影響はなかったとのことで、県が実施している発電所周辺環境放射線モニタリングにも異常は認められておりません。

県としては、東京電力の対応は、警報発生時の操作手順書に従った対応ではあったものの、「運転上の制限を逸脱」した状態の把握と県への連絡に時間を要したことについて、原因を確認し、適切に是正措置をとるよう求めました。

※「運転上の制限の逸脱」とは、原子炉の正常な運転は可能であるが、法令に基づき事業者が定めた追加の対応が必要な状態です。

今回の事例は4系統ある計測回路のうち1系統が故障しましたが、残りの3系統で安全に運転を継続していました。

### (2) 島根原子力発電所の保守管理の不備を踏まえた対応

#### ○平成22年3月31日：報道発表

中国電力島根原子力発電所で、過去に実施した定期検査において、計画どおりに分解点検や消耗品の交換が行われなかった場合の対応など、保守管理が適切に行われていない事例が見つかったことを受け、県としては、柏崎刈羽原子力発電所において同様の不備が生じるおそれがないか、保守管理の体制等を再確認するよう、東京電力に要請しました。

### (3) 周辺環境監視評価会議の開催について

3月19日に開催した評価会議で、平成22年度の監視調査計画を決定しました。また、7号機、6号機の起動試験期間中の観測結果について、周辺環境に問題となるような測定値が認められなかったことを確認していただきました。

なお、21年度全期間の監視結果については、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所が測定しているデータとあわせて、今後開催する評価会議で評価していただきます。

評価会議の概要及び平成22年度監視調査年度計画は以下よりご覧ください。

【ホームページアドレス】 <http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1269557405923.html>